

公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会(JIIMA)

第 54 回通常総会 報告

- | | | | |
|----------|---|-------------|-----------|
| 1. 開催日時 | 平成 27 年 5 月 28 日(木)16 時 30 分～18 時 15 分 | | |
| 2. 場 所 | 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエアカンファレンス Room A | | |
| 3. 正会員総数 | 一般会員 8 会員 | 維持会員 180 会員 | 合計 188 会員 |
| 4. 出席正会員 | 総会出席 | 33 会員 | |
| | 委任状提出 | 81 会員 | |
| | 合 計 | 114 会員 | |

第 1 号議案 第 54 期事業報告及び収支決算に関する件

- (1)第 54 期事業報告書と収支決算書は、4 月 28 日に長井・小向両監事による監査を受け、5 月 12 日の理事会で承認され、5 月 13 日より JIIMA 事務所内で閲覧及び全正会員に電子掲示され、通常総会当日も議案書に同封して配布された。
- (2)まず議長より、事業報告書の 2 頁 **はじめに**と 3 頁～4 頁の**政策提言プロジェクト活動報告**が説明された。
続いて議長指名により専務理事より、4 頁**普及啓発系委員会の活動報告**以降について、最終 23 頁までの報告概要の要旨が説明された。
- (3)続いて専務理事より第 54 期収支決算書について、2 頁～9 頁までの決算概要の要旨が説明された。
- (4)監査報告
次に長井監事より、第 54 期収支決算書・監査報告書の 10 頁に記載された監査報告書にもとづいて「小向監事と私は、理事や事務局員と意思疎通を図り、情報収集や監査環境の整備に努め、理事会や重要な委員会・プロジェクトに出席し、理事などから職務の執行状況の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要書類や業務会計書類、財産状況を調査しました。この方法で第 54 期事業報告や第 55 期事業計画、予算案について確認いたしました。さらに会計帳簿や原始証憑書類の調査を行い、第 54 期決算書類についても検討致しました。その結果、事業報告などは、法令定款に従い、JIIMA の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正や法令定款に違反する重大な事実は認められません。また第 54 期決算関係の書類や財産目録を監査した結果、JIIMA の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます」との趣旨の監査報告が行われた。
- (5)報告事項
次に議長指名により専務理事から、当日配布された通常総会議案書 2 頁の記載に従って、
- ① 執行理事制度の導入を行ったこと、及び本総会で承認を求める執行理事はいないことが報告された。

- ② 寄付金等取扱規程の導入と寄附募集を開始したこと、及び第 54 期の寄附は 1 件を拝受したことが報告された。

(6) 議案審議

議長より議案内容の審議を求めたところ、会員からの質問は行われなかった。

(7) 採決

議長はさらに質問を求めたが会員からの質問は特になく、議長は第 1 号議案の決議を求め、満場異議無くこれを承認決議した。

第 2 号議案 第 55 期事業計画及び収支予算に関する件

- (1) 第 55 期事業計画書及び収支予算書は、3 月 18 日開催の第 54 期第 7 回理事会で承認され、内閣府公益認定等委員会に提出している。

また通常総会の開催通知に併せて 4 月 15 日から全正会員に電子閲覧され、通常総会当日も議案書に同封して配布された。

- (2) まず議長より、第 55 期事業計画書の 2 頁「はじめに」と 3 頁～4 頁の「I. 戦略的重点活動」が説明された。

続いて議長指名により専務理事より、4 頁の「II. 主要事業の活動計画」から 10 頁の「おわりに」までの計画概要の要旨が説明された。

- (3) 引続き議長指名により専務理事より、11 頁～12 頁の「第 55 期収支予算書」について、概要要旨が説明された。

- (4) また専務理事より、当日配布された通常総会議案書 3 頁の記載に従って、定款 27 条による 2 名の常勤役員報酬総額は、第 55 期 10,560 千円以内で提案するので、第 2 号議案に含み審議をお願い申し上げたい旨の説明が行われた。

(5) 議案審議

議長より本議案に関する審議を求めたところ、

① 維持会員であるアマノビジネスソリューションズ株式会社の市川桂介氏より、「質問ではなくお願いであるが、JIIMA が国税庁に要望しているタイムスタンプの追加規制緩和について、一般書類のタイムスタンプ不要とする要望は賛成するが、タイムスタンプのまとめ打ちについては、タイムスタンプ事業者としては賛成しかねる。会員間での意見調整を行う会議の場を求めてほしい」との質問が行われ、理事長から「JIIMA 会員も様々な事業者に参加して頂いており、全てのご意見を反映することはできないが、電子化社会を推進する立場は同じなので、意見交換を行う場を設定するよう検討する」趣旨の回答が行われた。

② 維持会員である株式会社国際マイクロ写真工業社の森松義喬氏より、「他団体との連携を図りながら、『紙から電子社会をめざす』ビジョンの実現をめざして社会貢献する」とあるが、具体的にはどのような団体と連携を図ってゆくのか」との質問が行われ、理事長から「e-文書法推進のテーマに関しては、特別プロジェクトの『WG-3 重点業種その他団体と連携した普及活動の実施』で金融や流通関連団体などと連携の可能性を探り始めたところ。また公文書管理法 5 年目の見直しテーマに関しては、内閣府の公文書管理委員会に参加している学習院

大学の保坂裕典教授が主催する「公文書管理の5年見直しに関する研究集会」に長井監事(法務委員会 公文書管理 WG アドバイザ)に参加をお願いして取り組み始めたところである」趣旨の回答が行われた。

③議長より追加質問を求めたところ、出席正会員からの質問は行われなかった。

(6)採決

このため議長は第2号議案の決議を求め、満場異議無くこれを承認決議した。

第3号議案 役員改選に関する件

(1)第3号議案の役員立候補者名簿は、通常総会当日に議案書4頁に記載して配布された。

(2)まず議長より提案趣旨について、以下が説明された。

「定款第25条により、現JIIMA 役員の任期は本通常総会を持って終了致します。このため正会員各位に総会開催案内と同時に役員立候補についてご案内いたしましたところ、次頁の役員立候補者名簿の通り理事として17名、監事として2名の方々が立候補されました。

理事(定員13名以上18名以内)・監事(定員2名以上3名以内)とも定数内でございますので、立候補された全員を本日から2年後の第56期終了後の最初の通常総会までの役員選任(案)として提案致したいと存じます。

(3)議案審議

議長より審議を求めたところ、出席会員からの質問は行われなかった。

(4)採決

このため議長は「定款第18条3項により、候補者1名ずつの議決をお願いしたい」旨を説明し、以下の役員立候補者について1名ずつ氏名と所属を読み上げ、賛成は拍手、反対は挙手をもって採決を行った。その結果、立候補者全員が異議なく承認された。

(5)通常総会の休会宣言

議長より「立候補者全員が承認の議決を頂きましたので、これより別室で理事会を開催し、定款第22条第2項により理事長・副理事長・専務理事を選定致しますので10分程度休会とさせていただきます」との休会宣言が行われ、通常総会は17時55分から一旦休会した。

(6)第55期・第56期の役員体制について発表

18時10分から通常総会が再開され、議長より「理事会の結果、以下の通り新役員体制が決定しました」として、第55期・第56期の役員体制が発表された。

理事長	高橋 通彦*	株式会社ジェイ・アイ・エム
副理事長	勝丸 泰志	富士ゼロックスシステムサービス株式会社
専務理事	長濱 和彰*	公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会
理事	廣岡 潤	株式会社ニチマイ
	栃木 眞司	株式会社ムサン
	桂林 浩	富士ゼロックス株式会社
	内藤 昭行	キヤノンマーケティングジャパン株式会社
	河村 武敏	株式会社アピックス
	辻 明	株式会社ムサン・エービーシー
	岡本 光博	コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社
	清水 栄一	キヤノン電子株式会社
	石田 敏	株式会社 PFU
	太田 雅之	株式会社ハイパーギア
	中村 壽孝	株式会社ジムコ
	望月 明彦	太陽誘電株式会社
	野村 貴彦	株式会社ワンピシアーカイブズ
	田中 毅	コダック アラリス ジャパン株式会社
監事	長井 勉	株式会社横浜マイクロシステム
	小向 鋭一	株式会社ジェイ エスキューブ
		*常勤役員
顧問	廣岡 毅	前理事長

また議長より「本日の通常総会をもって佐々木淳氏、本田克己氏は理事を、村田一則氏は執行理事をそれぞれ退任されました。役員としてご尽力頂いたことを感謝申し上げます」との報告が行われた。

通常総会終了宣言

議長より、「以上をもちまして、提案した全議案について承認の議決を頂きましたので、これにて通常総会を終了いたします。ありがとうございました」との終了宣言が行われ、18時15分に第54回通常総会は終了した。

協会功労者表彰

(1)委員会特別功労賞 (50音順)

○中西 勝彦 氏

文書情報管理委員会など長年に渡って委員会活動に貢献。

○檜林 幸一 氏

標準化委員会で JIS Z6018(ISO11506COM/COLD) 制定に貢献。

○長谷川文彦 氏

アーカイブ委員会で磁気テープ研究会を立上げ、「磁気テープを用いたアーカイブガイドライン」策定に貢献。

以上3氏に、通常総会議場で理事長から委員会特別功労賞を授与した。

(2)20年会員顕彰

本定時総会では、該当会員は無かった。

以上